

患者さんへ ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 悪性消化管狭窄と悪性胆道狭窄に対する当教室でのダブルステントの治療成績』

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院消化器内科では、悪性消化管狭窄と悪性胆道狭窄におけるダブルステントの当教室での治療成績を後方視的に検討しその安全性と有用性を検討することを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、悪性十二指腸狭窄と悪性胆道狭窄を併発した患者様に対する治療戦略の確立につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大橋病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

1993年2月～2019年3月までに東邦大学医療センター大橋病院消化器内科において、悪性消化管狭窄と悪性胆道狭窄の診断で診療を受けた患者さん(約100例)を対象として、診療録(カルテ)から抽出した臨床データを解析します。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院消化器内科
職位・氏名 レジデント 田中貴志
電話 03-3468-1251 内線 2022